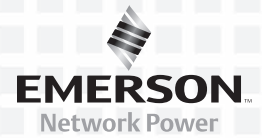


Avocent® ACS 8000高度コンソール・システム

クイック・インストレーション・ガイド



参考文献

製品関連の文書は以下からダウンロードできます。

www.avocent.com/manuals

下記のサイトからも、製品の追加情報をご検索いただけます：

www.avocent.com

ご質問、サポートについては、Avocentテクニカル・サポートまでお問い合わせください。

当社のユーザー・コミュニティの情報は下記のサイトをご覧ください。

<http://community.emerson.com/networkpower/support/avocent/serial/>

⚠ セキュリティに関する警告

ACS 8000高度コンソール・システムを使用すると、装置に接続されているデバイスへのアクセスが拡張されます。そのため、ユーザーのセキュリティ・ポリシーが損なわれることがないように注意する必要があります。

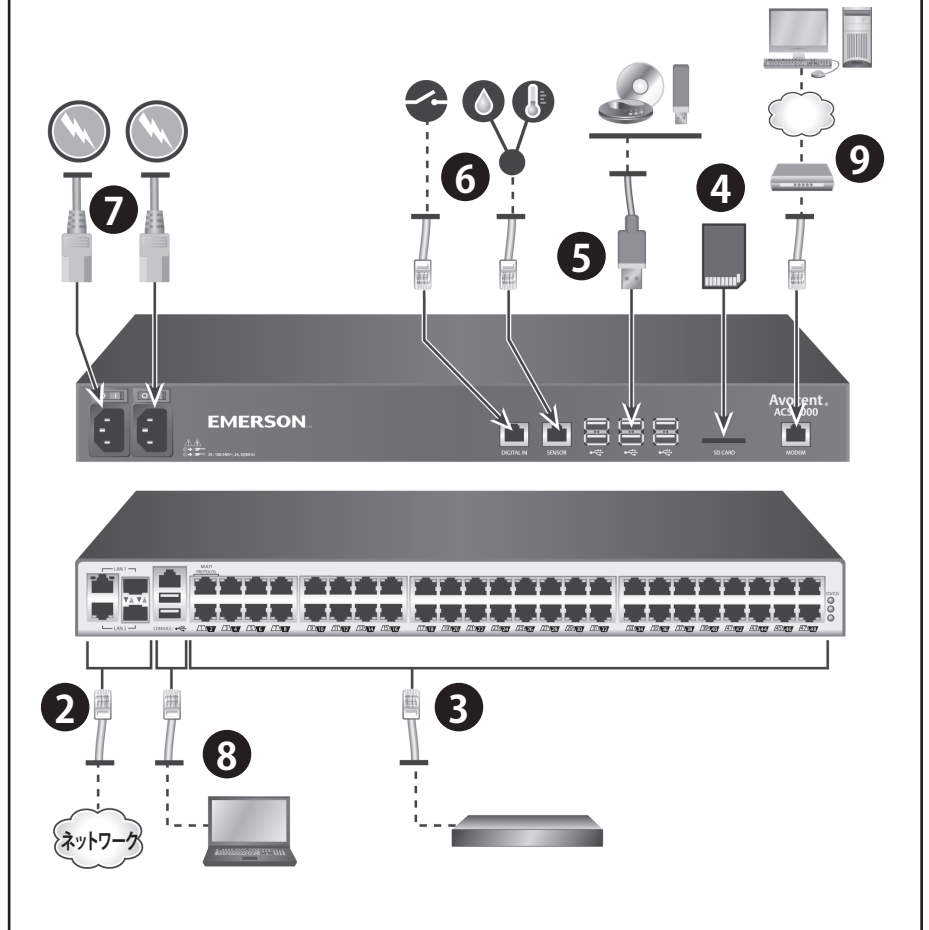
本装置の工場出荷時の設定は次の通りです。

- DHCP、SSHv1およびSSHv2、HTTPおよびHTTPS – 有効
- モデムおよびシリアル・ポート – 無効
- イーサネット、コンソールおよびUSBポート – 有効
- パスワードが設定されたデフォルトのユーザー（2つ）：
 - root/linux
 - admin/avocent
- rootおよびadmin用のシェル・アクセス – 有効

初期セットアップ後にデフォルトのパスワードを変更して、セキュリティ・プロファイルを選択することを強くお奨めします。

詳細は、『Avocent® ACS 8000高度コンソール・システム・インストーラー／ユーザー・ガイド』を参照してください。

図は ACS 8048コンソール・システム



① コンソール・システムのラック収納

ラック収納の手順は、『Avocent® ACS 8000高度コンソール・システム・ラック収納ガイド』を参照してください。

② ネットワークへの接続

左側のLANポートは銅・インターフェイス接続用、右側のLANポートはファイバー・インターフェイス接続用です。冗長性を実現するため、片方または両方のネットワーク・ポートに接続できますが、同時に接続できるのはLAN1ポートまたはLAN2ポ

ートのいずれかのみです。LAN1ポートとLAN2ポートを両方接続する場合、ファイバー接続の方が優先されます。

銅ケーブルの場合、CAT 5eまたはCAT 6ケーブルを10/100/1000BaseTポートからネットワークに接続します。

ファイバー接続の場合、適切なSFPモジュールを光ファイバー・ケーブルの各端に接続します。一端をコンソール・システムのファイバー・ポートに差し込み、もう一端をネットワークに接続します。



Avocentテクニカル・サポートへのお問い合わせ：www.avocent.com

Emerson, Emerson Network Power, およびEmerson Network Powerのロゴは、Emerson Electric Co.の商標またはサービスマークです。AvocentおよびAvocentのロゴは、Avocent Corporationの商標またはサービスマークです。その他のマークはすべて各所有者に所有権があります。本文書にはAvocent Corporationの機密および専有情報の両方またはいずれかが含まれている場合がありますが、本書を受領し所有しているにもかかわらず、その内容の複製や開示に対する権利または記載内容の製造や販売に対する権利が付与されることにはなりません。Avocent Corporationから明確な承認を受けていない複製、開示、または使用は固く禁じられています。©2016 Avocent Corporation. All rights reserved.

590-1324-510A

③ デバイスの接続

ケーブル (CAT 5e または CAT 6) とコンソール・アダプター (DB9 または DB25) を使用して、該当するシリアル・デバイスと電源装置をコンソール・システムのシリアル・ポートに接続します。

注:最初の2つのポートはマルチプロトコル方式で、RS-485、RS-422 または RS-232 インターフェイス接続に使用できます。残りのポートはRS-232 インターフェイスを使用します。

④ SDカードの接続

SDカードをコンソール・システム前面のスロットに差し込みます。

⑤ USBデバイスの接続

コンソール・システムには、前面に6個のUSBポートがあり、サポート対象USBデバイスの接続用に背面にも2個追加されています。

⑥ センサーの接続

1-Wire環境センサーをセンサー・ポートに接続し、発煙、漏れ、圧力または乾接点センサーをコンソール・システム前面のデジタル入力ポートに接続します。

⑦ 電源ケーブルの接続およびコンソール・システムの電源投入

AC電源ユニットの場合は、電源ケーブルをコンソール・システムに接続します。DC電源ユニットについては、『Avocent® ACS 8000高度コンソール・システム・ラック収納ガイド』を参照してください。

注:オプションとしてDC、デュアルACまたはデュアルDC電源ユニットを使用できます。

⑧ コンソール・ポートへの接続

同梱されているRJ-45コンソール・アダプターの1つを使用して、ターミナルまたはワークステーションをコンソール・ポートに接続します。コンソール・システムを構成するには、ターミナルまたはターミナル・エミュレーターを使用し、次のセッション設定を適用します: 9600、8、Nおよび1、フロー・コントロールなし

⑨ モデム・ポートへの接続

モデムを内蔵しているモデルの場合は、電話回線をモデム・ポートに接続します。

注:初期構成ウィザードではモデム・ポートは有効になっていません。ポートを有効にする場合は、『Avocent® ACS 8000高度コンソール・システム・インストーラー/ユーザーガイド』を参照してください。

注:これ以降のセットアップの全手順は、コンソール・システムの構成を初めて行う時点で必ず実行しなければなりません。

⑩ ネットワーク・パラメーターの構成

デフォルトのパスワード (**avocent**) を入力し、コンソール・システムに **admin** としてログインします。コマンド・プロンプトで **wiz** と入力し、現在のIP構成を表示します。

注:デフォルトのIP構成はDHCPになっています。DHCPサーバーが使用できない場合は、コンソール・システムを手動で以下のように構成してください。

IP構成を変更するには、**Enter**キーを押してパラメーターに移動し、現在の値を確認します。選択したパラメーターに新しい値を入力するか、または **Ctrl + E** を押して現在の値を変更します。完了したら **yes** と入力して新しいパラメーターを保存します。

⑪ 「初期構成」画面の完了

ACS 8000高度コンソール・システムを初めて構成する場合は、Webブラウザを開いてアドレス欄にコンソール・システムのIPアドレスを入力します。**Enter**キーを押してWebマネージャーにアクセスします。

パスワード (**avocent**) を入力し、コンソール・システムに **admin** としてログインします。「ウィザード」タブの「セキュリティ」画面で以下の構成手順を実行します。

ステップ 1 - セキュリティ・プロファイル

セキュリティ・プロファイルを選択します。完了したら次へ をクリックします。

ステップ 2 - ネットワーク・パラメーター

ネットワーク・パラメーターを設定します。完了したら次へ をクリックします。

ステップ 3 - ポート

すべてのシリアル・ポートには、デフォルトのCASプロファイルが適用されます。目的のCASプロファイル・パラメーターを設定します。デフォルトでは、すべてのポートが有効になっています。完了したら次へ をクリックします。

ステップ 4 - root/admin

パスワードの変更

「ユーザー」テーブルの **root** リンクをクリックします。新しいパスワードを入力し、確認のため再入力して次へをクリックします。**admin** リンクをクリックします。新しいパスワードを入力し、確認のため再入力して次へをクリックします。保存をクリックして構成を適用して保存し、完了をクリックします。

コンソール・システムの構成はこれで完了しました。ユーザー認証やポートへの接続が可能になっています。

